

2024（令和6）年10～12月

ウィークエンド・シネマ

特別展「終わらなかった戦争 モノとマンガで知るシベリア抑留」（2024（令和6）年10月1日～12月27日）の開催にあわせ、関連作品を連続上映します。

各土曜日 午後2時～
予約不要（当日先着順、定員160名）
参加費無料（ただし入館料が必要）
【会場】ピースおおさか1階講堂

10/5, 12, 19, 26

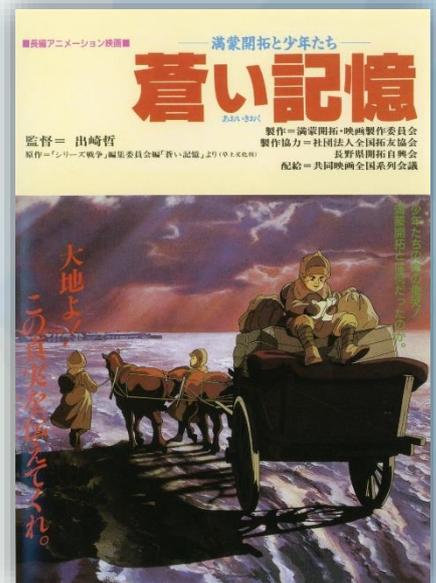
蒼い記憶 満蒙開拓と少年たち

長野県にある尋常小学校に通う恭太は“満州の人々と仲良くし立派な国をつくるために日本の青少年が必要だ”と先生から誘いを受け、満蒙開拓青少年義勇軍に入隊した。

満州に渡った恭太の目を通して、満蒙開拓の様子、終戦直後の満蒙開拓団に起こった悲劇を描いた作品。

監督：出崎哲

声の出演：山口勝平、草尾毅、石田彰、三木眞一郎、宮本充、水谷優子ほか
90分 1993（平成5）年 日本 カラー アニメ



11/2, 9, 16, 23, 30

ラーゲリより愛を込めて

“生きる希望を捨ててはいけません。
帰国（ダモイ）の日は必ずやって来ます。”

第2次世界大戦終了後、零下40度の厳冬シベリアにある強制収容所（ラーゲリ）では60万人を超える日本人が捕虜として収容されていた。

山本幡男は日本にいる妻と4人の子どもと一緒に過ごす日々が訪れることを信じ、絶望する仲間たちを励まし続ける。

しかし徐々に近づくダモイの日を前に、山本の体は病魔に侵されていた…。



監督：瀬々敬久 原作：辺見じゅん「^{ラーゲリ}収容所から来た遺書」

出演：二宮和也、北川景子、松坂桃李、中島健人、桐谷健太、安田顕ほか
134分 2022（令和4）年 日本 カラー

11月のウィークエンド・シネマは当日朝より、2階受付付近で**参加整理券**を配布します。

戦争体験者 証言映像 2本同時上映

12/7, 14, 21

シベリア抑留、引き揚げ、そして出征した家族の行方…。

12月の上映では、戦争体験者の証言映像を2本同時上映します。



シベリア抑留体験 証言映像

証言者：近田明良さん

1925年9月東京生まれ。1945年2月、大学在学中に召集され、満州（現・中国東北部）のジャムスへ渡る。同年6月に奉天に移動し、三菱重工業の技術兵として軽機関銃などの兵器を製作していた。

終戦後、シベリアのガラドック東方へ抑留され、伐採・運搬作業に従事する。1946年7月、1か月かけて、ウクライナのザポロージェに移動。発電所の復興作業や被服の修理を行う。1948年11月にナホトカから京都の舞鶴港に復員した。

39分 2020（令和2）年撮影 平和祈念展示資料館制作

戦争証言 2023

「満州から引き揚げた母娘の長い戦争」

証言者：杉山康さん（終戦時3歳）、広田きみさん（終戦時29歳）

1941年、父親の仕事で満州国に渡った広田さん家族。そして満州で生まれた康さん。戦時中はまだ穏やかな生活を送っていたが、日本の戦況が悪くなると、父親は37歳の年で出征。終戦の頃にはソ連（ロシア）の侵攻により、広田さん家族は満州を離れることになる。

そこから数々の苦難を乗り越え、日本に帰り着くまでに1年以上の月日がかかった。その後、出征した父親の行方が分かるまで70年近くの時間を要することとなる。

17分 2024（令和6）年 滋賀県平和祈念館制作



特別展「終わらなかった戦争 モノとマンガで知るシベリア抑留」

2024（令和6）年10月1日～12月27日 1階特別展示室で開催

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者の方と同伴)

【入館料】大人250円、高校生150円、中学生以下は無料

65歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)、20名以上は団体割引

【主催】公益財団法人 大阪国際平和センター(ピースおおさか)

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2-1 TEL 06-6947-7208

<http://www.peace-osaka.or.jp>

FAX 06-6943-6080

JR環状線「森ノ宮」北出口・Osaka Metro「森ノ宮」①番出口

